

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	えのもと よしあき		
氏名	榎本 善晃		
所属	beniw合同会社		
役職	プロジェクトエディター		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	メールアドレス	info■beniw.com (■を@に変えて下さい)	
キャッチコピー	本気の素人は、やっつけのプロを超える。		
自己PR	15年以上に渡って、ボランティアが「お手伝い」ではなく「主体者」となって、普段関わりの無いメンバー同士で、各自の意志を活かして、ひとつのプロジェクトを共に完遂するための設計と伴走を担ってきました。行政・企業・市民を横断し、自治体事業からローカルスタートアップまで、有志やボランティアが主体を担うプロジェクトの立ち上げ～運営およびメンバーの自律化支援や、地域資源を活かした体験の編集を行っています。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	渋谷ズンチャカ!	<a href="https://shibuya-zunchaka.com/">https://shibuya-zunchaka.com/</a>	
	ローカルプロジェクトのつくりかた	<a href="https://note.com/exnso/m/n908148b78d3a">https://note.com/exnso/m/n908148b78d3a</a>	
	漫画「ローカル×ローカル」	<a href="https://note.com/murasakitotetsu/n/nh010a7d2c0b3">https://note.com/murasakitotetsu/n/nh010a7d2c0b3</a>	
	NARU NIHONBASHI	<a href="https://www.plus-manu.com/">https://www.plus-manu.com/</a>	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>早稲田大学高等学院、早稲田大学第二文学部(表現・芸術系専修)卒業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2016年:「特定非営利活動法人 シブヤ大学」事務局長</li> <li>2014年～:「渋谷ズンチャカ!」プロジェクト・ファシリテーター</li> <li>2018年～:「特定非営利活動法人 地域密着新聞ネットワーク」事務局長</li> <li>2019年～:「一般社団法人 南伊豆編集室」理事</li> <li>2020年～:「総務省」地域力創造アドバイザー</li> <li>2022年～:「株式会社Goldlocks」パートナー</li> <li>2024年～:「株式会社COTEN」コミュニティマネージャー</li> </ul> <p>・2024年 グッドデザイン賞 受賞(渋谷ズンチャカ!)</p>		
3. 取組分野			
観光	( )		
● 移住・定住・関係人口	(市民大学の設立支援、地域資源を活用したイベント企画)		
農林水産業	( )		
● 起業支援	(ローカルメディアを起点とした事業開発)		
まちなか再生	( )		
集落再生	( )		
環境	( )		
● その他	(市民共創型プロジェクトの立ち上げ～育成～自律支援)		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	◆2017～19年度 南伊豆町 誰もが生涯にわたり活躍できる地域社会を形成するための「学びのプラットフォーム」構築事業		



## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 渋谷ズンチャカ!  (2) 対象地 : 東京都渋谷区  (3) 事業目的: まちとの関わりしろをつくる</p> <p>(4) 事業内容:  年に1回、音楽に詳しくなくても楽器ができなくても誰もが楽しめる場を、毎年新たに募るボランティアが約1年間をかけて、渋谷の真ん中でみんなで作る、まちの音楽祭。ハチ公前やセンター街、宮下公園や地元の小学校など、渋谷のまちのいたるところにステージや、音楽に触れ合えるアトラクションをつくります。2014年にショーケースとして「第0回」を開催し、その後毎年、ボランティアチームの立ち上げ、運営、メンバーの自律化支援を担ってきて、2025年の開催で「第11回」となります。  <a href="https://shibuya-zunchaka.com/">https://shibuya-zunchaka.com/</a></p> <p>(5) 事業による成果:  ・2024年の第10回までの延べ実績として、ボランティア1,451人、出演者685組・2,593人、会場50ヶ所  ・2024 グッドデザイン賞受賞: <a href="https://www.g-mark.org/gallery/winners/23746">https://www.g-mark.org/gallery/winners/23746</a>  ・2024 グッドデザイン賞受賞【提出資料公開】: <a href="https://note.com/exnxxo/n/ne1c950809c94">https://note.com/exnxxo/n/ne1c950809c94</a></p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : 日本橋NARUカイギ &amp; NARUクルー  (2) 対象地 : 東京都中央区  (3) 事業目的: まちのプレイヤーを増やす</p> <p>(4) 事業内容:  NARUクルーとは、「自分でイベントや活動を企画したい!」から「何か新しい活動に主体的に関わりたい!」まで、NARUを「利用する」以外の関わり方で活動して下さるメンバーの方々用のメンバーシップ。そんなNARUクルーでは毎月「日本橋NARUカイギ」という場でアイデアを出し合い、様々なイベントの企画を行なっています。  <a href="https://www.plus-naru.com/">https://www.plus-naru.com/</a></p> <p>(5) 事業による成果:  ・50名超のボランティアが月1で集まって、地域資源を活用したイベントを毎月約3本開催  ・NARUクルー案内: <a href="https://www.notion.so/NARU-NIHONBASHI-NARU-101c2a360205409c9117423ffd044777">https://www.notion.so/NARU-NIHONBASHI-NARU-101c2a360205409c9117423ffd044777</a>  ・イベントページ: <a href="https://www.plus-naru.com/events/">https://www.plus-naru.com/events/</a>  ・NARUクルーインタビュー&amp;イベントレポート: <a href="https://www.plus-naru.com/voices/">https://www.plus-naru.com/voices/</a></p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : ローカル×ローカル  (2) 対象地 : 静岡県南伊豆町  (3) 事業目的: 地域を編集することで、関係人口を増やす</p> <p>(4) 事業内容:  ふるさと財団活用助成で担ったプロジェクトの続きとして、地域おこし協力隊を代表理事として「一般社団法人 南伊豆編集室」を創業し、彼を主体者としてローカルメディア「南伊豆新聞」を興して地域の人の情報を集め、ローカルプロジェクト「南伊豆くらし図鑑」を協働することで地域の方々と関係を築き、協力隊卒業後の2021年にローカルビジネスとしてゲストハウス「ローカル×ローカル」を開業。  <a href="https://local2minamizu.com/">https://local2minamizu.com/</a>  ※ この取り組みを元に描いた漫画が、テレビ東京と幻冬舎と CAKES の「コミックイッセイ大賞」で受賞して、CAKESにて連載(現在はCAKESがサービス終了しましたので、バックナンバーが↓で読めます)  <a href="https://note.com/murasakitotetsu/n/nb010e7d2cdb3">https://note.com/murasakitotetsu/n/nb010e7d2cdb3</a></p> <p>(5) 事業による成果:  ・毎年10名弱の長期インターン&amp;1-2名の留職生(社会人インターン)の受け入れ  ・留職生が3年連続移住 &amp; 起業</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1) 事業名 : シブヤ大学  (2) 対象地 : 東京都渋谷区  (3) 事業目的: 「まち」×「学び」で、たくさんの副産物をつくる</p> <p>(4) 事業内容:  地域密着型の生涯学習を通じたまちづくりを行う特定非営利活動法人シブヤ大学にて事務局長を担当。「街がまるごとキャンパス」と「誰でも生徒、誰でも先生」をキーワードに、毎月第3土曜日に渋谷の街の至る所を教室として「地域に縁のあるテーマを取り上げ、市民講師を起用した授業」を開催(一部、渋谷区の生涯学習授業として実施)。これまで地域課題の解決を担っていた町内会や自治会などの「伝統的な地域コミュニティ」の衰退に際し、これらを代替・補完するため、地域資源を活用した生涯学習の場づくりによって、「地域への愛着の醸成」と「様々な学びのテーマを媒介にしたコミュニティ形成」を行うことで、「新しい地域コミュニティ」の創出推進を図る。都市生活者がより主体的に過ごせるプラットフォームづくりを行うためのネットワーク型組織を編成し、これに関わる100名余のボランティアスタッフと30名余のパートナースタッフのマネジメントに当たっていました。  <a href="https://www.shibuya-univ.net/">https://www.shibuya-univ.net/</a></p> <p>(5) 事業による成果:  ・(事務局長を退任する2016年時点)学生登録数約25,000名、延べ約1,000講座開催(うち100講座のコーディネートを担当)  ・シブヤ大学の授業のつくりかた: <a href="https://note.com/exnxxo/n/n7d7c634e6439">https://note.com/exnxxo/n/n7d7c634e6439</a></p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>